

議案第7号

令和3年度 三股町社会福祉協議会事業実績報告書

令和4年5月31日提出

三股町社会福祉協議会
会長 木佐貫 辰生

令和3年度 社会福祉法人三股町社会福祉協議会 事業実績報告書

1. 法人運営事業

(1) 会務の適正な運営並びに事務局機能の充実

① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

ア 令和3年5月28日(理事会)

- ・令和2年度 事業報告
- ・一般及び特別会計決算報告 ほか

イ 令和3年6月23日(評議員会)

- ・令和2年度 事業報告
- ・一般及び特別会計決算報告 ほか

ウ 令和3年9月22日(理事会)

- ・訪問入浴車の無償譲受について
- ・令和3年度共同募金運動計画(案)について

オ 令和4年3月11日(理事会)

- ・令和4年度社会福祉協議会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和4年度共同募金委員会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和4年度日本赤十字社三股町分区事業計画(案)並びに予算(案)審議ほか
- ・定款の一部改正について

カ 令和4年3月25日(評議員会)

- ・平令4年度社会福祉協議会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和4年度共同募金委員会事業計画(案)並びに予算(案)審議
- ・令和4年度日本赤十字社三股町分区事業計画(案)並びに予算(案)審議ほか
- ・定款の一部改正について

② 県社協及び他市町村社協等との連携

- ・宮崎県社会福祉協議会事務局長会議
- ・市町村社会福祉協議会職員研修会
- ・宮崎県市町村社協連絡協議会理事会・総会

(2) 健全な財務運営のため会計監査機能の充実

① 会計事務所(税理士)による定期監査 奇数月に年6回実施

② 監事による監査(年1回) 令和4年5月20日実施

2. 地域福祉事業

(1)調査・研究・企画・広報事業

①相談事業の実施

- ・司法書士による法律相談(毎月第3水曜日 年12回開催)

相談件数 62件

財産問題 24件、 土地・建物問題 15件、 家族・生活問題 12件、
借金問題 8件、 その他 3件

②民生委員・児童委員との連携による住民福祉の推進

- ・会議及び行事 毎月上旬に代表者により企画会を実施
第3金曜日に定例会(事例発表、行政連絡)
研修会、スポーツ交流会を実施

- ・赤い羽根共同募金運動推進 (戸別募金・企業募金のとりまとめ)

- ・敬老の日記念事業

88歳・100歳以上(最高齢107歳)訪問しお茶配布 140人

- ・歳末助け合い訪問

85歳以上1人暮らし高齢者	202人
共に81才以上老夫婦	75組
在宅心身障害者2級以上	148世帯
生活困窮家庭	9世帯
65歳以上在宅認知症	2人

- ・愛のいたわり訪問事業(ヤクルト配布)

85歳以上1人暮らし高齢者世帯	185世帯
在宅心身障害者2級以上	145件
共に81歳以上老夫婦世帯	75世帯

- ・災害時要援護高齢者実態調査

- ・地域に支援の必要な人の見守り、行政機関・社協等との連携・仲介

- ・有志が「どうぞ便」、「みまもり隊」のボランティア、サロンの運営も行っている

③貸出備品による生活及び地域活動支援(累計)

- ・テント11張、車椅子32台、グラウンドゴルフセット14組、
グラウンドゴルフコースセット12組、机199台、いす571脚ほか

④金婚式祝賀会の実施による長寿者への祝福

- ・24組を祝福(6組欠席)

⑤老人クラブ(さんさんクラブ三股)活動支援による高齢者福祉の推進

- ・事務局機能支援
- ・エコロジーボランティア in 三股
- ・さんさんクラブ作品展(町文化祭)
- ・募金運動(赤い羽根共同募金、友愛募金)

⑥戦没者慰霊祭の実施による遺族福祉の推進 ※新型コロナ感染症対策で規模縮小

- ・主催者5人、来賓1人、遺族会32人、職員10人、福祉課2人 計50人

⑦職員研修により資質・技能の向上

- ・職員のマナー研修、啓発的な研修は新型コロナ感染症の蔓延により実施せず。
- ・担当する専門分野ごとの研修等については ZOOM を用いて随時受講した。

(2)生活支援サービス体制構築事業

①通いの場支援活動

- ・地域ふれあいサロン 31箇所運営、巡回支援

- 1 地区 山王原3箇所、仲町3箇所
- 2地区 上米2箇所、谷
- 3地区 小鷺巣、寺柱、大鷺巣
- 4地区 田上、梶山5箇所
- 5地区 轟木
- 6地区 勝岡、前目、蓼池、三原
- 7地区 下新、今市、中原、花見原
- 8地区 東原2箇所、稗田1箇所
- 9地区 東植木

- ・ノルディックウォーキング 11箇所

- 中央、山王原、上米、寺柱、梶山、轟木、仮屋、大野・大八重、前目、三原、東原

②軽度生活支援活動

- ・自治公民館型生活支援 6箇所
- ・障がい就労支援施設型生活支援 1箇所
- ・シルバー人材センター 1箇所
- ・生活支援型ボランティア団体 1箇所

③移動買い物支援

- ・買い物支援(ヒロセ) 3団体(轟木、仮屋、梶山)
- ・買い物支援(至福の園) 6団体(上米、小鷺巣、寺柱、蓼池、下新、東植木)
- ・サロン送迎(至福の園) 1団体(蓼池)

④地域での協議

- ・自治公民館型生活支援の会議(買い物、簡単なお掃除、ゴミ出し) 2回開催

⑤寝具清掃乾燥消毒サービス事業

- ・寝具類の衛生管理の困難な高齢者、障がい者の寝具類の洗濯、乾燥消毒
利用人数 42人

⑥地域リハビリテーション活動支援事業

- ・理学療法士による介護予防体操教室 235回開催(延べ275時間)
総合福祉センター(元気の杜)、サロン会場、生きがいデイ、町デイ、各公民館等
で口腔機能ケア、歩行動作の評価・指導、有酸素運動指導、熱中症予防指導、
歩行バランス改善指導、ひざ痛改善運動療法指導、股関節機能訓練を実施。

⑦足もと元気教室

- ・町内14箇所で介護予防の体操教室を実施
開催回数 141回 参加延べ人員 1,656人
第1～5地区、餅原、蓼池、三原、下新、今市、中原、花見原、第8～9地区

⑧その他の支援活動

- ・こども食堂支援2箇所
りんりん食堂(光明寺)、森の子学習塾(ビオトープガーデンカフェ)
- ・つながる味噌づくり(みんなの居場所づくり) 1箇所
ひかりの森こども園 ビオトープガーデンカフェ
- ・不登校に関する相談は、町内外を問わずに社協で随時実施。
- ・タテヨコナメによる「不登校児童・生徒」居場所支援 平日の午後に毎日実施
- ・不登校生徒の学習支援1箇所(森の子学習塾) 延べ479人 ※県立高校合格者もでた。
- ・外国人支援を行う「地球人ベース」は一般社団法人として法人格を取得
DIYにより、グローバルゲストハウス「WAJIMA」の施設完成(令和4年3月末)
- ・「キマプロダクツ」による就労支援(ひきこもり気味の方々のサポート・訓練)
上米の工房で縫製作業
ドライフラワー、ドライ食材を開発中
総合福祉センターの環境整備作業による実証実験

(3)地域福祉推進事業

①ボランティアによる活動

- ・おもちゃ病院(月1回)、手話講座(毎週火曜日)、手話サークル(毎週水曜日)
- ・布絵本づくり(毎週火曜日)、障害者ふれあいサロン(月2～3回)、

②エコロジーボランティア(縮小して実施) 12団体 223人

(4)生活困窮者相談支援センター事業 (添付資料 20)

相談支援延べ件数 587 件

- | | | | | |
|--------|-----------------------------|------------|----------|-----------|
| 主な相談内容 | ・生活費のこと 404 件 | ・住まい 42 件 | ・債務 28 件 | ・職探し 25 件 |
| 相談支援方法 | ・来所相談 291 件 | ・訪問相談 50 件 | | |
| | ・個別支援会議の開催 8 回 | | | |
| | ・福祉課及び南部福祉こどもセンター等との連携 32 回 | | | |

(5)支援対象見守り強化事業（添付資料 21）

「みまたん宅食どうぞ便」により、町内に居住する18歳以下の子供がいる生活困窮世帯に月に1回10食分の食材を届ける。食品ロスの解消に貢献するとともに、食材提供により、その世帯とボランティアさん、社協と関係性を深め、アウトリーチが可能となる。僅かな異変にも早期に気づき、問題の深刻化を未然に防止できる。

- ・令和3年度実績：年間870世帯(月平均 72.5世帯)、延べ28,930食
- ・先進事例として、他市町村や県、厚生労働省、支援団体から多数問合せや多く、他の地域の「子ども宅食」の立ち上げに協力したり、この事業の啓発・普及を行った。
- ・当事業の実施により、不登校児童・生徒の不登校支援、学習支援、保護者の就労支援事業にも波及した。

(6)認知症総合支援事業（添付資料 22）

認知症地域支援推進員(保健師)による相談支援・受診勧奨・支援者育成

- ①認知症患者、家族の相談支援
- ②地域包括支援センターとの協議
- ③関係機関、事業所、医療機関との連携
- ④専門医療機関との連絡調整、受診立会い
- ⑤認知症カフェの活用(コーヒーチケット)
- ⑥研修会の参加 ※令和3年度は ZOOM 会議が中心)
- ⑦物忘れ相談会の実施
- ⑧認知症サポーターリーダー一定例会の実施
- ⑨認知症サポーターリーダーの育成、フォローアップ研修の実施

(7)法人後見センター事業

令和3年9月に本格的な準備を開始。令和4年7月から本格稼働。

- ① 法人後見センター準備委員会 2回(10月27日、1月26日)

②先進地事例研修

- ・先進地視察 美郷町社協 8月4日(三股町社協へ来所)
- 高鍋町社協 8月12日(高鍋町社協へ訪問)
- 都城市社協 11月16日(三股町社協へ来所)

③行政機関との打合せ

- ・家庭裁判所との協議 2回
- ・高齢者支援との打合せ 4回
- ・研修 成年後見制度フォローアップ研修 3回
- 法人後見専門員育成研修会 1回
- 後見人交流会 2回

③その他準備

- ・損害保険加入(全国社協)

(8)福祉サービス利用援助事業 (添付資料 3)

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者等判断能力の不十分な方が地域で安心して自立生活を送るため、生活支援員を派遣し相談・情報提供・見守り・金銭管理等の福祉サービス利用援助を本人との契約により行う。

- ①判断能力の不十分な人への福祉サービスの利用援助
- ②日常的金銭管理
- ③定期的な訪問による生活変化の察知
 - ・利用人員 20人 年間延べ支援時間 519時間

(9)配食サービス事業 (添付資料 16)

- ①食事の困難な高齢者への食事の配達
- ②利用者の安否確認
 - ・月平均食数447食 年間5,364食 ※元年度 2,968食 2年度 4,658食

(10)自殺対策強化事業

- ①自殺予防の啓発活動
 - ・健康診断、町表彰式での啓発資材配布(ボールペン、チラシ)
 - ・自殺予防月間、予防週間
 - ポスター掲示、チラシ、パンフレット配布(社協・文化会館の2箇所)
 - 横断幕の掲示(町武道館のフェンス)
 - ・更正保護女性会……高校生にチラシ・ティッシュ配布
 - ・自殺予防月間街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- ②傾聴講座の実施 参加人数 100名
 - ・傾聴基礎講座 どうぞ便ボランティア 参加人員 24人
 - ・ステップアップ講座 どうぞ便ボランティア 参加人員 14人
 - ・傾聴ミニ講演会 地域支援ボランティア 参加人員 21人

③相談業務

月平均相談件数 20件 相談件数 251件

(11)子育て支援センター事業 (添付資料 4)

- ①育児不安等について相談指導
 - ・食事、発育、育児、健康、しつけほか 32件
- ②子育てサークルとの連携による育成
 - ・読み聞かせグループ「おおきな木」のおはなしかい 4回 45人
 - ・育児サークル「いもんこクラブ」子育て支援活動 1回 11人
 - ・ふわふわ布絵本 8回 96人
 - ・お茶の会、ミマタチルドレンサークル 16回 160人
 - ・親子ふれあいコンサート「小さな音楽会」 11回 241人

③情報交換、交流会の実施

・親子製作	5回	66人
・誕生会	6回	35組
・高齢者との交流会	0回	0人

④関係機関等との連携

・宮日母子福祉事業団による子育て講座	5回	89人
・消防署による救急法講習	2回	8組
・子育て講演会	2回	14人
・ALTによる「英語であそぼう」	24回	194人
・療育等支援事業(ウルトラマン教室)	5回	13組

⑤子育てだよりの発行(2箇月に1回 年6回)

(12)ファミリーサポートセンター事業 (添付資料 5)

- ・育児援助提供会員・育児援助依頼会員の募集及び登録
提供会員 75人、依頼会員 317人、両方会員 43人 ※令和4年3月末現在

(13)総合福祉センター管理運営事業 (添付資料 6)

- ①施設の貸出業務
- ②施設内・多目的広場清掃及び除草、屋外トイレの清掃
- ③夜間・休日の会議室等貸出管理

(14)在宅高齢者いきがい活動支援通所事業 (添付資料 7)

- ・総合福祉センター内の「いきがいデイサービス」
- ・介護保険の認定を受けていない高齢者等に対する介護予防のサービス
日常動作訓練、生活指導、健康指導、入浴(月曜～土曜日)

(15)共同募金配分金事業

- ・各小学校、中学校に軽量の車いすを寄贈 ※以前、寄贈した車イスが30年経過していた。

(16)助け合い金庫貸付事業

- ・低所得者への不時の出費、自立更正に必要な資金の貸付(限度額5万円)

(17)生活福祉資金貸付事業(宮崎県社会福祉協議会事業)

- ・失業や減収等による生活困窮者に対し生活資金、住宅資金、教育資金他の貸付

3. 居宅介護等事業

(1)居宅介護支援事業（添付資料 8）

- ①介護保険事業による介護相談の受付
- ②介護計画(ケアプラン)作成

(2)訪問介護(介護保険)事業（添付資料 9、10）

- ・介護保険の認定を受けた高齢者への居宅へ訪問して行うサービス
 - ア 居宅における入浴、排泄、食事等の身体介護
 - イ 掃除、洗濯等の家事支援

(3)障害者福祉サービス居宅介護事業（添付資料 11）

- ・障害者への居宅へ訪問して行うサービス(総合支援)
 - ア 居宅における入浴、排泄、食事等の身体介護
 - イ 掃除、洗濯等の家事支援

(4)軽度生活援助事業

- ・介護保険の認定を受けていない高齢者世帯に対するサービス（添付資料 12）
 - 食事の支度・洗濯・掃除・買い物の便宜供与
- ・ゴミ出し支援（添付資料 13）

(5)通所介護事業（添付資料 14）

- ・介護保険の要介護及び要支援の認定を受けた者に対するサービス
 - 日常動作訓練、生活指導、健康指導、入浴

(6)訪問入浴事業（添付資料 15）

- ・一人での入浴困難な障害者や高齢者を訪問し、身体の清潔保持、心身機能の維持するための入浴の援助

(7)訪問看護事業（添付資料 17）

- ・居宅を訪問しての看護事業(介護保険及び医療保険を利用)

(8)基幹相談支援センター事業（添付資料 18）

- ・障害者(児)の相談に応じ、問題解決に向け一緒に考え、情報提供や助言など、必要な福祉サービスの利用支援や調整を実施
- ・障がい児者連絡協議会活動
 - 研修会、福祉学習会、ニュースポーツレクリエーション、アレンジフラワー教室

(9)障害児者相談支援事業（添付資料 19）

- ①障害福祉サービス等を申請した障害者(児)へサービス等利用計画の作成
- ②支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)

4. 共同募金事業 (添付資料 23)

(1) 三股町共同募金委員会(社会福祉協議会理事と兼務)

- | | |
|------------------|-----------|
| ①赤い羽根共同募金運動計画協議 | 令和3年9月22日 |
| ②共同募金配分審査会配分金の報告 | 令和4年3月11日 |

(2) 赤い羽根共同募金運動の展開

- | | | |
|-----------------------|-------------|------------|
| ①民生委員・児童委員との連携による募金活動 | 令和3年10月～12月 | ※社協職員で対応 |
| ②自治公民館への戸別募金の協力依頼 | // | ※民生委員さんが集金 |
| ③学校・保育園・幼稚園ほか施設への協力依頼 | // | |
| ④企業等への法人募金の協力依頼 | 令和3年11月～12月 | ※民生委員さん |

5. 日本赤十字社三股町分区事業 (添付資料 24)

(1) 日本赤十字活動への寄附活動

- ①自治公民館の協力により各支部を通じて寄附活動を実施 6月から8月

②募金箱設置による義援金活動(役場、元気の杜)

- | | |
|---------------|----------|
| ・熊本豪雨災害 | 10,100 円 |
| ・静岡県大雨災害 | 23,632 円 |
| ・福岡県豪雨災害 | 10,994 円 |
| ・青森県大雨災害 | 10,651 円 |
| ・福島県沖地震災害 | 3,126 円 |
| ・島根県松江市大規模火災 | 3,242 円 |
| ・ウクライナ人道危機救援金 | 次年度へ |

計 61,643 円

(2) 赤十字ボランティア活動

- ・日赤奉仕団の育成、活動支援

現在、町内では40名が奉仕団として活動しております。

(3) 広報啓発活動

- | | |
|---------------------|-------|
| ①赤十字活動啓発チラシの全戸配布 | 6月 |
| ②ポスター掲示、のぼり設置(公共施設) | 5月～8月 |

(4) 救護資機材の備蓄

- ・非常食(米3俵)
- ・救急箱 1箱
- ・薬品(救急箱用)